

本ガイドラインでは、オープンデータを活用し、多様な歩行者移動支援サービスが民間等様々な主体によって展開されていくための取組手順等を解説。対象は、主に市町村。

<構成>

第1章 はじめに

本ガイドラインの目的と構成を解説。

第2章 歩行者移動支援サービスについて

歩行者移動支援サービスの導入・普及が必要となる社会的背景や、サービスの仕組みと現状の課題、オープンデータの必要性と可能性、市町村に求められる役割等について解説。

第3章 データのリストアップ

サービス提供に向けて予め準備しておくべきデータのリストアップを行う段階。リストアップの考え方、各地域の課題やニーズを把握する方法等について解説。

第4章 データの収集・作成

リストアップしたデータの収集、必要に応じて作成や加工を行う段階。既存データサイトの紹介や、新たにデータ収集・作成・加工等を行う場合の方法等について解説。

第5章 データの公開

オープンデータ化を行う段階。データの公開方法や、公開するデータの利用ルールのあり方等について解説。

第6章 データを活用したサービスの提供

オープンデータを活用したサービスが民間等様々な主体から提供される段階。オープンデータの活用によるサービス提供の現状や、サービス提供を促すための取組方法、データ利用者に提供すべき情報等について、先進事例を紹介しながら解説。

第7章 おわりに

第3～6章で、取組の各段階における具体的な手順等を解説